



●教員研修の報告

日時：8月24日

研修内容：「合理的配慮について」

講師：天津祐子先生（浜田教育センター）

夏休み中の8月24日に、教員研修を実施いたしました。内容は「合理的配慮について」ということで、浜田教育センターの天津祐子先生をお招きして、ご指導いただきました。

学習障がいや発達障がいを抱える生徒、またそのような傾向を特性として持っている生徒に対しての理解が進む中、本校でも在籍する生徒の中で、そのような問題を抱えている生徒も現実として存在し、普段の学校生活の中で、学習活動や友人関係、教師との関わりなどにおいて、つまづいたりペースが遅かったりすることで、多くの悩みを抱え、自己肯定感の低下や学習意欲の減退などで苦しんでいる生徒も居るのではと考えられます。そこで、今回は「パ」の発音だけを用いて、ボードに示された内容を相手に伝える体験や、圧倒的に多い様々な指示内容を含んだ文章に従って行動してみる体験を実際にやってみて、「伝わりにくさ」「頭の中の混乱」「視覚や聴覚など様々な感覚における得意・不得意」などを実感することが出来ました。情報過多に弱い人には要点を絞ってメモなどの文字情報で伝えるとか、今何をすべきか、いつまでに終わるか、など具体的な目標を提示して作業させるとか、人によって様々に異なる「苦手」を、「これならできる」という方法に変えていくことが「合理的配慮」であり、学校側も授業の内容や教室などの設備・環境や、支援の体制をもう一度見直して再構築して行くことが求められるということを学びました。生徒一人一人の悩みどころは違っても、その悩みに寄り添って、本来生徒が持っている力や意欲を十分に引き出していく工夫が求められていると思います。今回の研修が、全ての先生方の今後の指導に活かされることを期待しています。